

行基のふるさと堺 土塔 見学と講演会

土塔で見つかった瓦
（「土師長」の文字）

奈良東大寺の大仏造営に大きな役割をはたした行基は、堺（家原寺）で生まれました。堺には、お寺や池、宿泊所（布施屋）など、行基の土木や福祉事業の足跡が多く刻まれています。

土塔は十三重の土の塔で、名前が刻まれたたくさんの瓦で築かれていたことがわかりました。



近藤康司さんは、土塔の発掘と研究・整備に大きな役割を果たされています。

堺市初の史跡公園・土塔を近藤さんのガイドで見学し、お話をお聞きします。どうぞご参加ください。

8月24日（金）

13:30～16:30

集合 堺市中区土塔町 土塔

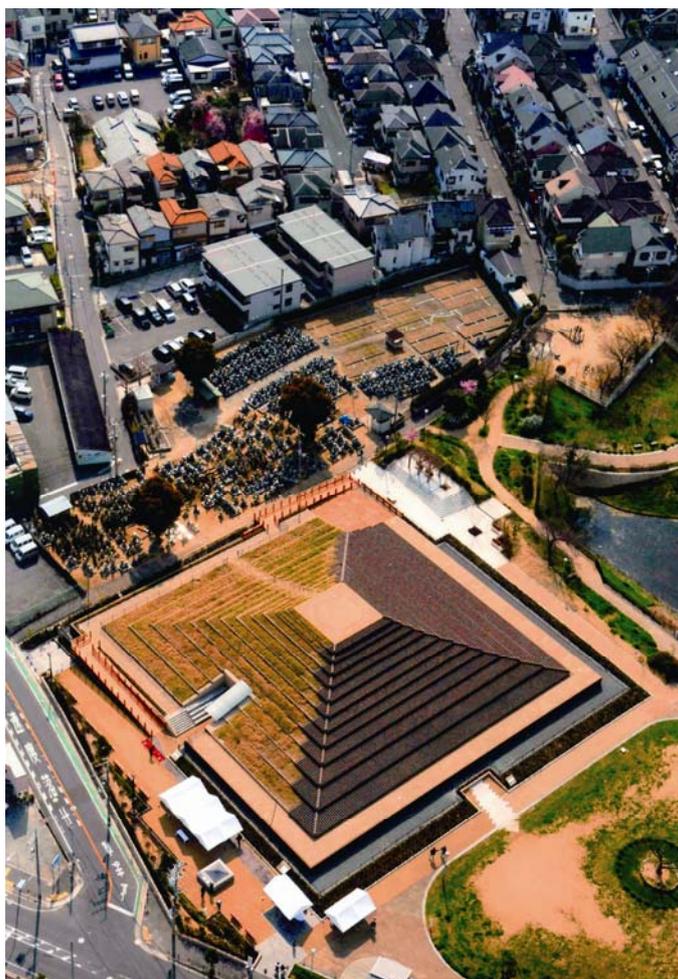
泉北高速・深井駅より東へ1.2 km

内容 ① 土塔の見学
② 講演会

「土塔の発掘と研究からわかったこと」
（場所 東百舌鳥小学校体育館）

講師 堺市文化財課 技術職員
近藤康司さん

8/20までに電話かFAXで参加予定をお知らせください。



2009・3・27 復元され史跡公園となった土塔の空撮（朝日新聞社提供）



歴史学習と探訪のガイドブックとしてお役立てください。

主催 大阪歴史教育者協議会堺支部
& 堺たんけんクラブ（小松）
☎08024442098 fax072-254-1717

後援 堺市教育委員会